



統合後の小坂高跡地活用が提案された発表会

24年度統合後の跡地活用

大型商業施設はいかが

小坂高で課題研究発表会

小坂高校（藤澤修校長、51歳）で、毎年生徒を招いて開いて20日、課題研究発表会が開かれた。生徒会が花輪、十和田十和田高高校と2024年度

活用案は生徒会が全校生徒

を対象に行ったアンケート結

果を基に提案。小坂高校舎は

年間取り組んだ課題研究につ

いて報告した。

発表会は学習の集大成とし

提とした。「現実的提案」と

してスポーツ施設、キャンプ場、憩いの場の3要素を持つ複合施設を、「夢のような提案」として大型ショッピングセンターを示した。

企業誘致も提案し、県内の廃校を活用する企業の事例を紹介。発表会に出席した企業関係者を意識し「東北自動車道の小坂インターチェンジに

近いことが利点。資材置き場や生産工場の拡充などを検討してはいかがでしょうか」と呼びかけた。

生徒会長の湯瀬瑛理香さん（2年）は「個人的には企業に活用してもらいたい」と話した。県教育庁によると、跡地の活用案は決まっていな

課題研究発表会では、普通科と環境技術科の5グループが、生活費に占める食費の割合、物価高騰対策、3D・C A D（3次元のコンピュータ）利用設計システムを使うなど新しいものづくりの形などについて成果を披露した。

（高橋秀明）